

GLCイノベーション・リーダー養成講座

2018年度

グローバル・リーダーシップ・コーチング協会の理念

理念

グローバルな地球社会で活躍できるリーダーを育成することで、日本をイノベートし、個人がもっと輝く社会を実現する。

グローバル・リーダーシップ・コーチング協会は、グローバル化が急速に進む中で、今まで以上に飛躍、進化を遂げようとしている企業をリーダー育成の点からサポートすべく、2011年10月に設立されました。

グローバルな環境下で成果を出せるリーダー育成を通じて、個人がもっと輝く社会の実現に貢献してまいります。



これからのグローバル社会の中で活躍するリーダーは、社内・業界だけにとどまらず、異業種の価値観や視点、ビジネスモデル等も、柔軟な発想で自らの事業・組織の変革に活かしていく必要があります。GLCでは社内での研修やコーチングだけではなく、業種を問わずリーダーとして活躍するメンバーが集まり、切磋琢磨していく場、及びGLCで提唱するグローバルスタンダードの価値観を持つリーダーが集う場としてGLCイノベーションリーダー養成講座を立ち上げました。

グローバル化により
組織・事業の本質的な変革
が必要になってきている。

●異業種との価値融合

価値観・ビジネスモデル・技術等

新マーケットの創造と開拓

人的ネットワーク構築

●多様化する価値観への対応

市場・仕事観・働き方・海外人材

多様な価値観の理解

実践的な事例の共有と研究

●海外拠点での躍進

マーケティング・現地スタッフ活用

世界の文化・価値観の理解

人間力とリーダーシップ強化

社会の変化に合わせ、社内外及び組織全体を巻き込み変革を推進できる
イノベーター人材の育成がカギ。

変化する社会に合わせ、
自らが成長し続けることが必要

社内だけでなく、意識が高い異業種のメン
バーが集まり、共に学び・互いに切磋琢磨し
成長する場が必要

各分野のリーダー達が共に学び、共に成長し、共に社会を創る場として
GLCイノベーション・リーダー養成講座が誕生

グローバル・スタンダードな価値観を提唱し、 人々が夢を持ち、自ら行動し輝く社会の実現。

GLCの提唱する

グローバル・スタンダード

- 言語・価値観・宗教観の壁のない社会で多様性を受け入れる寛容さと柔軟な思考力を持つ。
- 既存の常識や過去の事例に捉われず、常に新しいチャレンジをし続ける精神を持つ。
- 社会の変化に柔軟に対応するための俯瞰的な視野を持つ。
- 自分自身に対するリーダーシップを発揮し、ビジョンの実現へ向けての実行力を持つ。
- 価値観を硬直化させることなく、常に自己を磨き続け、進化し続ける姿勢を持つ。

GLC・グローバル・スタンダードを理解・共感し

自らがリーダーとして自覚を持ち共に素晴らしい社会を実現していく。



- グローバル・スタンダードな価値観を身に付け、企業内・外問わず、社会で活躍するリーダーとしての素養を磨く。
- 高い意識とキャリアの仲間と共に、自己を高め続ける、そして共に素晴らしい社会を共創していく。
- 業界をまたぎ、あらゆるジャンルとの知識融合の場として活用し、イノベーターとしての力量を高めていく。

イノベーション・リーダーとして必要な3つの基本スキル

事業・組織を巻き込み、イノベーションを推進していくリーダーには最低限3つのスキルが必要です。GLCアソシエイツの入会初年度には、この3つのスキルを磨くこと、そしてメンバー同士共通の価値観を持つことを目的としてGLCイノベーション・リーダー養成講座を受講します。

組織・メンバーを巻き込み 主体的に動かす力

メンバーを**主体的に**行動させ、成長へ導く、リーダーとしてのコミュニケーションの最強のツールとしてコーチングの基本スキルを学び、組織全体を能動的に成果を出し続けることのできる組織へと導く。

グローバルな環境下で ビジネスを創造する力

変化し続ける社会や、変化する局面を**常に大局的に捉え**、現在の事業のあり方や新しい価値創造へ向けた構想を描き、事業を進化させ続ける。

価値観の多様化する環境下 でビジネスを推進する力

海外拠点で文化が違う現地スタッフの活用や、価値観（職業観・働き方・生き方等）が多様化する中で、相手の価値観を理解したうえで自ら描いた**ビジョンに巻き込み**成果を出す。

GLC イノベーション・リーダー養成講座
全13回＋個別コーチング1回（90分）

前半 プライマリーコース

リーダーシップ養成

理論&内省&アクションプラン

リーダーシップの5要諦

- ①ビジョン力
- ②人を主体的に巻き込む
真のコミュニケーション力
- ③競争戦略を描く力
- ④実行力&セルフリーダーシップ
- ⑤人間力

自他共に対する影響力とも言えるリーダーシップを持つことは、リーダーにとって絶対に欠かせない要素である。

リーダーシップは、スキル教育とは違い、理論だけではなく、内省を繰り返すことではじめて醸成され、行動に移して初めて身についてくる。

テーマに合わせた理論と事例、様々な問いによる自己内省を徹底し、気づきを誘発し、受講者の行動にポジティブな変化を与え、具体的なアクションプランに落とし込み、実践を促進。

課題図書

テーマごとに示唆を与える課題図書。レポートを書くことで、テーマを自分ごとにした上で講義に臨む。

課題図書
&
レポート

講義

対話&ディスカッションで自ら考え、議論する自己内省のキッカケ。

理論
学習

対話型講義
ディスカッション
発表

参加者同士の
気づきのシェア

自分とは視点の違う誰かの気づきから学ぶ

職場での実践

自分の行動を変化させることで、新たな気づきが生まれる。

課 題
アクション

後半 アドバンスコース

グローバルスキル・経営スキル

後半の講座では、
グローバル環境下でビジネスリーダーが
成果を出し続けるために必要な要素の基本と
それを学ぶ重要性を理解する。

グローバル・スキル

- ・ 宗教／異文化
- ・ 英語力

宗教を含む異文化を理解すること、そして、言葉の壁を取り払えば、真の影響（リーダーシップ）は、世界のどこへ行っても通用するものに昇華します。

大前提・基礎基盤 リーダーシップ5要諦

教養

- ・ 倫理、哲学、宗教、歴史

倫理・哲学・宗教・歴史
教養を高め続けることは、
グローバル・リーダーと
しては極めて重要なこと
です。GLCでは、その重
要性と学び方のポイント
をお伝えしています。

経営スキル

- ・ イノベーション
- ・ コンセプチュアルスキル
- ・ 経営戦略力

ビジネスで成果を出すため
に、部署、会社、業界の枠
に囚われることなく、自社
の可能性を事業として最大
限に広げる発想力と、組織
づくりの力。

イノベーション・リーダー養成講座 概要

期間：6月～2月 開催日：土曜日 時間：10:00~17:00（18:00）

日程		内容
イノベーション・リーダー養成講座 プライマリーコース		
第1回	変化が常態化している今の社会とこれからを知り、どのようなリーダーシップが求められるのか。	■ リーダーたちが置かれている環境を考える。 <ul style="list-style-type: none">・日本の現状と、目指すべき社会。・自分たちが置かれている環境の今とこれからを考える。
第2回		■ グローバル化が進む中で、これからの世界と日本を考える。 <ul style="list-style-type: none">・社会の変化に合わせて、企業、組織はどのように変わっていくか。・100歳まで生きるのが当たり前の時代のなかで、人生をどう捉えるか。
第3回		■ リーダーシップ概論 <ul style="list-style-type: none">・自らのリーダーシップと、理想のリーダーシップとのギャップを見つける。・リーダーシップに欠かせない5つの要素を理解する。
第4回	相手を主体的に行動させ、相手の可能性を拡げ、組織を強くするリーダーシップコミュニケーション。	■ 人間力を高める「セルフリーダーシップ」 <ul style="list-style-type: none">・影響力の源泉「人間力」とは何かを考え、どのように高めていくかを学ぶ。・自分自身に対して発揮するセルフリーダーシップの重要性。
第5回		■ 正解のない社会のなかで、「ビジョン」の重要性を理解する。 <ul style="list-style-type: none">・ビジョンがなぜ必要なのか。・どのようにしてビジョンを組織全体に浸透させていくのか。
第6回		■ 相手を主体的に行動させるコミュニケーション①相手を理解する。 <ul style="list-style-type: none">・価値観が多様化しているなかで、一人ひとりの価値を理解し、共創するために。・エニアグラムを活用する。 ・強みを活かす。
第7回		■ 相手を主体的に行動させるコミュニケーション②信頼を深める「聴く力」 <ul style="list-style-type: none">・傾聴のテクニックとその効果・的確な質問で相手の可能性を開花させる。
第8回		■ 相手を主体的に行動させるコミュニケーション③可能性を開花させる認める力 <ul style="list-style-type: none">・「認める」とは？ ・ノンバーバルコミュニケーション・「褒める」「叱る」「励ます」

イノベーション・リーダー養成講座 概要

期間：6月～2月 開催日：土曜日 時間：10:00～17:00（18:00）

日程	内容
----	----

イノベーション・リーダー養成講座 アドバンスコース

	個別コーチング	前半のリーダーシップの講義で明確になった個々のリーダーシップの課題や、それぞれの今の立場、目標等に会わせてマンツーマンコーチング（一人 120分）を実施して、自己の内省することで、リーダーとして今後のあり方や具体的なアクションプランにつながる気づきを促していきます。
第9回	グローバルなビジネス環境下で求められるビジネススキル	■グローバルスタンダードスキル：倫理・哲学・宗教 ・倫理・宗教・哲学・歴史 ・日本人のパラダイムと欧米人のパラダイム
第10回		■グローバルスタンダードスキル：イノベーション戦略力 ・シンギュラリティ時代、連続的なイノベーションが必要になるこれからを考える。 ・イノベーション戦略をドロッカーから学ぶ
第11回		■グローバルスタンダードスキル：イノベーションと戦略的思考法 ・経営をシステムとして捉えて考える。 ・ドロッカーの経営モデル
第12回		■グローバルスタンダードスキル：日本人のアイデンティティ 日本人とは何かを考える。
第13回		■グローバルスタンダードスキル：グローバルネゴシエーション・マーケティング ・マーケティングとブランディング ・グローバル ネゴシエーションの押さえるべきポイント
第14回		■修了式・リーダーとしての決意表明

- 全講座終了後 課題提出のうえ、「GLCイノベーション・リーダー養成講座修了証」を授与いたします。修了証は、GLCとJim Bagnola 氏がチェアマンを務める The Leadership Group International の連名で世界に通用するリーダーのあり方とスキルを学ぶ本プログラムを修了したことを承認します。
- 本プログラムののショートVer.が慶應ビジネススクールのエグゼクティブMBAにて2016年より開講されています。

■メインレナー

グローバル経験・経営経験豊富で、修羅場をくり抜けてきた講師の魂の籠った実践的な講義。
テーマに応じて、経済界や海外からのゲスト講師の登壇も予定しております。



中島 一

古河電気工業人事部
ケブナートリゴ（日本）入社、社長、会長、特別
顧問（1974年—2009年）日立化成工業株社
外取締役等社外取締役数社を歴任



Jim Bagnola

米国スピーカー協会、グローバルスピーカー連盟か
ら発行されてい「スピーキング・プロフェッショナ
ル認定」を取得しているプロのスピーカーであり、
フォーチュン500の企業のリーダーへの研修やエグゼ
クティブ・コーチング等を通じて企業の支援。



藤井 義彦

米スタンフォード大学（経済学部）慶応義塾大学
（経済学部）を卒業後、鐘紡(株)に入社。
1990年、鐘紡(株)在職中に、ハーバード大学BS、
AMPプログラムに短期留学。
1995年、企画室副室長兼海外事業管理部長を最後
に鐘紡(株)を退社。
1995年、(株)イー・シー・シー・インターナショナル（鉱物顔料の世界
的サプライヤー）の代表取締役社長として入社。

2003年、ガンガー総合研究所（GRI）を設立。大学、
大学院で教えると共に、日本人経営者、欧米経営者
（特に日本赴任時）や、中小企業の後継者向けのエ
グゼクティブ・コーチングや企業変革、競争戦略等
におけるコンサルタントとして活躍。

■GLCアソシエイツ 特別パートナー

北里 光司郎氏

60年から97年まで富士通（株）に勤務、北米事業部長、欧州事業部長、
常務理事海外営業本部長、英国ICL社常務取締役を歴任。
97年日本BT（株）会長、2004年（株）パワードコムの中会を務め、
現在BTジャパン（株）会長。現在、国際キワニス日本地区ガバナー

河野 宏和氏

慶應義塾大学大学院経営管理研究科委員長、
慶應義塾大学ビジネス・スクール校長を務める。1991年7月より1年間、
ハーバード大学ビジネス・スクール訪問研究員。日本経営工学会元会長、
TPM優秀賞審査委員、IEレビュー編集委員長。

山見 博康氏

2002年広報・危機対応コンサルタント。価値統合家。
九州大学卒業後、（株）神戸製鋼へ入社、人事部、鉄鋼事業部、海外勤
務を経て1979年より一貫して広報に携わり、広報部長へ。1994年ドイ
ツ・デュッセルドルフ事務所長を歴任。1997年にスパーカー商業化
ベンチャー企業及び、経営コンサルティング会社に出向。中小企業経営
を学んだ後、山見インテグレーター（株）を設立し、現在、代表取締役。

藤田 実氏

昭和44年2月 株式会社マッキンゼーエリクソン博報堂営業局入社
平成2年11月 株式会社マッキンゼーエリクソン博報堂筆頭副社長就任
平成7年5月 株式会社東急エージェンシー常任理事就任
現在 オグルヴィ・アンド・メイザー・アジアパシフィック相談役

鈴木 秀子氏

東京大学人文科学研究科博士課程修了。文学博士。
フランス、イタリアに留学。ハワイ大学、スタンフォード大学で教鞭をとる。
聖心女子大学教授（日本近代文学）を経て、国際コミュニオン学会名誉会長。
聖心女子大学キリスト教文化研究所研究員・聖心会会員。
日本にはじめてエニアグラムを紹介。

安楽 淳子氏

エージー株式会社代表取締役、
イメージ&コミュニケーションコンサルタント
リ・アライズドカラー、スタイル&イメージ（ベストカレッジ）認定
コンサルタント
産業カウンセラー、リスクマネジメント・コンサルタント、ビジネスコーチ

GLC LEADERS CLUB

本講座受講生・修了生のリーダーネットワーク

GLC LEADERS CLUBとは、イノベーションリーダー養成講座の受講生・修了生のネットワークであり、**現在100名超**。勉強会やゴルフ大会・親睦会を通じて講座終了後も主体的な学びとネットワーキングの場としてご活用いただけます。

GLCイノベーションリーダー 養成講座受講

自他ともに対してポジティブな影響力を発揮する リーダーシップの醸成

リーダーとしての自覚と、多様化する価値観、どこの国でも発揮できるリーダーシップを身につけることを目的にした、全13回の講義では、各回のテーマについて、メンバーでの討議や、講師から投げかけられる質問による内省を通じて様々な気づきを得ていきます。

GLC LEADERS CLUB

生涯学習で自己を高めつづける リーダーのネットワーキングの場

GLC読書勉強会、GLC講演会、GLCゴルフコンペ、ジムバグノーラ博士来日懇親会をはじめとする各種懇親会等を通じてネットワーキングや、自己を高める場として活用できます。

GLC LEADERS CLUB 3つの基本スタンス

● 相互尊重

年齢・役職問わず、メンバーは対等であり、「相互尊重」を基本スタンスとして相手と接する。違いこそが価値であり、価値観の違いを受け入れる度量のあるリーダーであらう。

● 主体性

活動への参加は自由参加！自己を高め続けていくためには「主体性」が最も重要。自分自身に対するリーダーシップを存分に発揮出来るリーダーであらう。

● 貢献性

誰かのために役に立つ。誰かのためにできる事を積極的に行うことを当たり前の土壌に。貢献の喜びを知っているリーダーになろう。

GLC LEADERS CLUB

1、異業種で活躍するリーダー同士が、切磋琢磨し自己を高める場。

・ GLC読書勉強会

各回テーマに応じて1冊の本を選び、事前に読んだ上で参加し、そのテーマに対して討議しながら深めていきます。

・ GLC講演会

GLCのネットワークまたは、メンバーのネットワークから講師を招いての講演会。懇親会も含めて聴講者参加型の講演会。

※上記2つは同僚や部下の方の参加も歓迎いたします。
部下育成の場としてもご活用ください。

2、異業種で活躍するリーダー同士が、親睦を深める場。

・ ジムバグノーラ博士懇親会

「PhB」の提唱者ジムバグノーラ博士が来日した際にPhB実践者として彼と交流し、あらためてその重要性に気づく。

・ GLCゴルフ大会

明るく、楽しく、さわやかに開催！



2018年度 GLCアソシエイツ イノベーションリーダー養成講座 募集要項

定員 各期20名

受講資格

- ◆自らがリーダーとして変革を推進するという意気込みのある方
- ◆自らの価値を磨き続けることの意義を理解し実行できる方
- ◆事業を通してより良い社会を創造するという気概のある方

受講料

イノベーション・リーダー養成講座受講料（120万円／全13回＋個別コーチング1回）※税別

提出書類

登録完了後に、ご自身のご経歴等を記載する「GLCアソシエイツ・メンバーシート」をご提出いただきます。

受講登録までの流れ

- 【1】 **メンバーシート記入・ご提出** （メール及びFAX・郵送にて受付）
- 【2】 **ご入金のご連絡**
ご担当者様宛（個人の場合はご本人様宛）にご入金のご連絡を差し上げます。
- 【3】 **メンバー登録完了**
ご入金が確認でき次第GLCアソシエイツメンバー登録の完了となります。
- 【4】 **登録完了のご連絡**
メンバー登録完了のご報告及び今後のスケジュールにつきまして担当よりご連絡を差し上げます。

参加者の声

●共に学んだ異業種の方々との交流は、今でも私にとっての財産！

共に学んだ異業種の方々との交流は、仕事でできた人脈とはまったく異なる財産となり、大きな刺激になっています。自らのあり方を見直す最高の機会になりました。

講師陣の方も参加者の皆様もすべて一流のプロフェッショナル揃いであり、これまでよりひとつ次元を高めた考え方、行動の仕方を心がけるようになりました。今後の人生では更なる成長を経て真のグローバルリーダーになると決意させていただけたことに感謝しています。

(大手ITコンサルティング企業 課長クラス 42歳)

●違う業界の方と議論を交わし、多様性を受け入れる許容が増えた。

いろいろな経験や自分とは違う知識や考えを持った異業種の、様々な立場・役割の方々と共に学ぶことで、自分自身の許容範囲が大きくなったように思います。自分自身の良い点、悪い点を含めて行動の傾向に気が付き、特に相手の価値観を理解することの重要性を再認識し、日々の行動にも反映させることができてきたと思います。

(外資系スポーツメーカー 人事部長 50歳)

●自分に対するリーダーシップ、行動することへの意欲が高まった！

各テーマごとに大きな気付きがあるだけでなく、常々言われる実践することの重要性を理解し、「今までと違う事をやってみる」「実際に行動に移す」という高い意欲を持てるようになってきました。実行・行動後、自身に対する効果を検証できていない部分もあるが、自分自身に対するリーダーシップをどんどん発揮していきたいと感じています。

(大手商社 主任クラス 34歳)

●会社内での研修では得られないものが多く、場の重要性を感じた。

現代の日本企業は依然として従来からの延長でOJTで社員を教育していますが、これでは不十分です。明確な目的意識を持つ組織が行う勉強の場での、武者修行が必須と思われます。異業種、異なるポジション、幅広い年齢層、男女混成というダイバーシティに富んだメンバー間のディスカッションが、多くの気づきと学びの源泉であると、改めて感じました。

(教育機関 部長クラス 56歳)





●リーダーとしての自覚、 品格を含めたあり方を考え直した。

異業種ということ、経営者、人事、営業、それぞれの役割の違いも立場が変われば、ものの見方が変わることも実感できました。自分の組織の中だけ、自分の経験の中からの答えやアイデアを考えていたころよりは、オプションが広がったり、立場を変えてみるということが、今までよりはできるようになったような気がします。一般的なリーダーシップ研修や大学では学ぶことができない、人としての生き方まで考えるきっかけをいただいたこと、この出会いに感謝しております。

（人財アセスメント 部長クラス 45歳）

忙しさに翻弄される中で、参加したこの研修。正直に言うと、今更という思いもありましたが、いざ受講がはじまると隔週土曜日に参加することが自分にとって、最高のストレス発散になっているということに驚きました。日頃左脳ばかり使って凝り固まっている脳内物質が、新鮮な刺激によって右脳にさらさらと流れていき活性化している、そんな感覚を覚えているのです。異業種で活躍する様々なバックボーンを持つ参加者の、多様な視点からの意見がシャワーのごとく降り注ぎ、さてどうやってこの情報を処理してやろうかと、脳がわくわくしているのです。

また、本研修のテーマ選択の妙、選んだテーマの深掘りの仕方、さらにはそれについていくレベルの高い参加者。この年齢になって自己成長の楽しさを味わうとは思いませんでした。各講座での気づきも、日々の業務で、実践し、手応えを感じ始めています。**（外資系日本法人 事業部長クラス 53歳）**

これからの日本企業全般に重要な講義テーマに対して、年代も職種も異なる方々と共に参加させていただき、各々いろいろな角度からの目標や悩みなどについて知る事が出来たと同時に、このような考え方もあるのかと改めて感ずることも多く非常に参考になった。また、実行に移すことが大切と実感し、講座で吸収したことを、できることから行動してみるようになった。回数を重ねる毎に参加メンバーと一体感のようなものが感じられるようになり、その結果何でも言い合える雰囲気の中で自分の考え方の幅を大きく広げてもらうことができたと感じている。

（製紙会社 部長クラス 52歳）

●幹部2名で参加したことで、会社でも共有し、即仕事に活かしています。

同じ社から2名で参加させていただいたため、学びや気づきを同時に共有できたことで相乗効果が生まれ、直接仕事に生かすことができはじめています。自分と異なる業種の方々と共に学ぶことにより、自分とは異なる視点にハッとさせられることが多く、業務において困っている点も、相談して有用なアドバイスをいただいたことも多々ありました。学びと気づきと仲間、この講座を受けることができたのは私にとって宝物のようなものです。その後のGLCの集まりも、私にとって自身をチューニングできる良き機会となっています。

(日用雑貨品卸・輸入企業 幹部 56歳)

●今まで受けてきた研修とは全く別物。徹底的な内省で、行動が大きく変わった。

今まで色々な研修を受けてきましたが、この講座はそれらとは全く違うものでした。自分の内面を見つめ、仕事に限らず将来の目標を明確にし、日々の行動を変えることの出来るものでした。自分自身の変化としては、仕事だけではなくあらゆる場面において、常に自分を客観的に見つめるようになり、他人への興味が増し、1人1人をよく見て、考えて、対応するようになっていると感じています。

様々な業種の方が参加しているため、自社との比較をすることで、会社又は業界による共通点、違うところがわかり、自身の発想の幅が広がりました。

心地よい緊張感を持った中で研修することができ、良い仲間を作ることができたことも大きな財産です。

私の年齢になると、同世代の講師の方からの研修も多いのですが、世代の違う講師からは、仕事や人生における深く広い経験や、それに基づいた人間力を感じることができ大変楽しく、勉強になりました。

(大手製菓メーカー 取締役経営企画 50歳)

●グローバルへの理解と前向きな意識変容、そしてかけがえのない仲間との出会い。

グローバル化と叫ばれていても、従業員一人ひとりがそれを自分ごととして捉え、行動に移せていないことに改めて危機感を感じた。自身もリーダーとしての自覚を持ち改善していきたい。講座の受講は普段あまり考えていないテーマも多く、とても面白く受講でき学びも多かった。

講義は一方的ではなく対話型で受講者の考え方を確認するのも、一人一人異なる考えがあると理解でき、毎回ハッとさせられたように感じる。

業界が全く違う方が参加しているので、おそらく、この会に入らなければお会いすることのなかったであろう方々と、お会いできお話しできるようになったことは、仕事に活かせるだけではなく、今後の人生に大いにプラスになると考えている。

(大手電機メーカー 部長 52歳)



お問い合わせ・お申し込み

一般社団法人グローバル・リーダーシップ・コーチング協会
東京都港区六本木4-5-3 六本木453ビル 2F

- メール info@gl-coaching.com
- お電話 03-5413-3026